革新的衛星技術実証３号機プレスキット

革新的衛星技術実証プログラムとは

プログラムの目的

革新
INNOVATIVE
SATELLITE TECHNOLOGY
DEMONSTRATION PROGRAM

本プログラムは、宇宙基本計画で示された「衛星開発・利用基盤の拡充」の衛星開発・実証プラットフォームにおけるプロジェクトの戦略的推進の一環として、大学や研究機関、民間企業等が開発した部品や機器、超小型衛星、キューブサットに宇宙実証の機会を提供するプログラムです。

また、JAXA として、このプログラムを通じて以下を実現することを目指しています。

[1] 民間事業者、大学等の新たな知見を獲得・蓄積し、将来ミッション・プロジェクト創出や民間事業者による宇宙実証ビジネス確立に繋げる。

[2] 更には、新規技術を反映して我が国の政策課題解決の省庁ニーズをより高度かつ効果的に実現することや国際市場でのシェア拡大等に繋げる。

公募制度の概要

JAXA は「革新的衛星技術実証プログラム」の実証テーマ提案を通年公募しています。
応募条件等の詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

▶ 革新的衛星技術実証プログラム特設サイト (https://www.kenkai.jaxa.jp/kakushin/index.html)

宇宙実証の機会を
提供するプログラム

革新的衛星技術実証３号機

概要

「革新的衛星技術実証 3 号機」は、「革新的衛星技術実証プログラム」の 3 回目の実証機会で、大学や研究機関、民間企業等を対象に公募を行い、選定された 15 テーマ（7 つの部品・機器・サブシステム、8 機の超小型衛星・キューブサット）で構成されています。
なお、イプシロンロケット 6 号機の打上げ失敗により、7 つの部品・機器・サブシステム、及び 5 機のキューブサットについては軌道投入されませんでした。

これまでの革新的衛星技術実証プログラム

革新的衛星技術実証１号機

▶ https://www.kenkai.jaxa.jp/kakushin/kakushin01.html

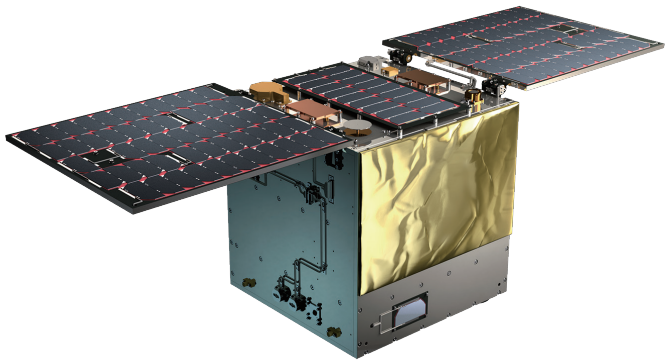
革新的衛星技術実証２号機

▶ https://www.kenkai.jaxa.jp/kakushin/kakushin02.html

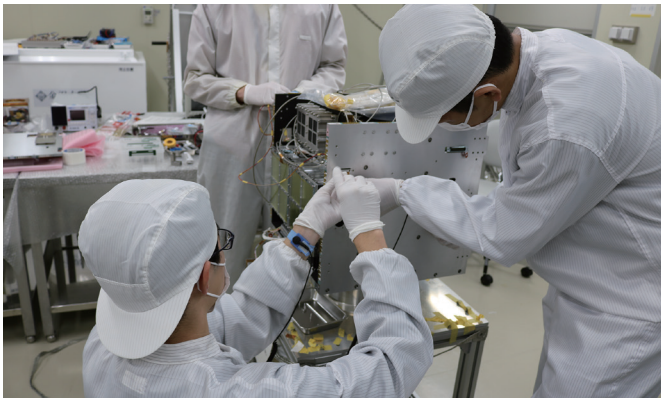
この度打ち上げる実証テーマ

X線突発天体監視速報衛星 こよう　KOYOH

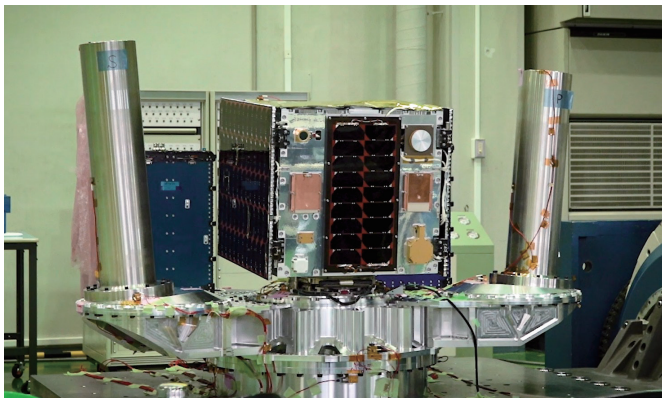
実証テーマ名	理工学が融合した超小型衛星システムの開発と重力波天体のX線観測
提案機関	金沢大学
ミッション概要	広視野X線撮像検出器を搭載して、重力波を伴うガンマ線バーストなどの突発天体をX線で撮像観測することで発生時刻や発生方向を同定し、その情報をほぼリアルタイムで国内外の地上・宇宙の観測施設に通報する。
寸法	493mm×450mm×488mm
質量	43kg
実施責任者	金沢大学　八木谷 聡



■開発風景

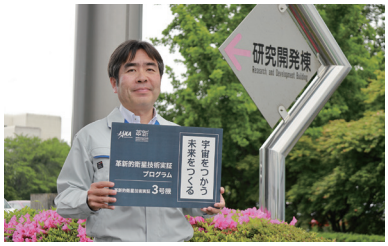


提供：金沢大学



■インタビュー

開発への思いやエピソードなどをインタビュー形式でホームページに掲載しています。



革新的衛星技術実証プログラムで宇宙産業の裾野拡大と人材の育成を目指す

JAXA 研究開発部門
超小型・小型衛星宇宙実証研究ユニット長　鈴木 新一

▶ https://www.kenkai.jaxa.jp/kakushin/interview/03/interview03_01.html

提供：金沢大学

大学発衛星で理工学分野の人材育成と重力波天体のX線観測を行う

金沢大学
理工研究域先端宇宙理工学研究センター長　八木谷 聡 教授
理工研究域数物科学系　米徳 大輔 教授

▶ https://www.kenkai.jaxa.jp/kakushin/interview/03/interview03_10.html

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
研究開発部門
〒305-8505　茨城県つくば市千現 2-1-1

JAXA
(www.jaxa.jp)

革新的衛星技術実証 3 号機
(https://www.kenkai.jaxa.jp/kakushin/kakushin03.html)